

God

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。
- HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

今回使う質問を選ぼう。

- マルコ1:29~34

1. ここでは、イエスが単なる人間を超えた何かであることを示すものにどんなことがありますか？

- マルコ6:35~44

1. もしあなたがこの奇跡を見ていた弟子たちの一人だとしたら、イエスについてどのように考えたいでしょう？

- マルコ16:1~8

1. [ここにはさらに偉大な奇跡が見られます。イエスは死からよみがえったのです。いままで見てきた3つの箇所から、(以下の質問に行く)]

2. イエスが神のような、超自然的な性質を示したわけですから、イエスが私たちにどんなことを願ってきたとしても、私たちのそれに対するふさわしい反応とはどのようなものであるべきだと思いますか？

APPLY

- HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。
- 具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

- そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。
- メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。

グループ・ディスカッション・アウトライン

CONNECT with needs:

- ・一人一人調子はどうか探る。また、「やってみたいアクション」と「話すべき相手」はどうか探る。
- ・このセッションのために神さまからの知恵を祈る。
- ・次のように言って始める。
「人間の力とか説明を超えたことがときどき起こるものです。」
そのあとで、体験を出してみる。
「このことに関して、わたし自身の体験を話させてください。」
「このことに関して、みなさんの体験を分かち合ってください。」
- ・次のように言いながら聖書に移る。
「2000年前のイエスの歩みには、彼が神であるという証拠になるものがたくさん見られます。人間の力や説明を超えている生き方です。」

HEAR what God says:

- ・このトピックに関する次の聖書ストーリーや聖句を読む。(あるいは話す。)
- ・選択: マルコ1:29~34(ストーリー)、マルコ6:35~44(ストーリー)、マルコ16:1~8(ストーリー) (この中から2つを選べば、このセッションをカバーできるでしょう。)
- ・解説: マルコ1:29~34>>イエスはシモン・ペテロの義理の母親をいやされ、その他にも多くの人たちをいやされた。悪霊(あきれい)たちはイエスが神であることを知っていると言っている。
マルコ6:35~44>>イエスは5つのパンと2匹の魚を奇跡的に増やして大群衆に食べさせたばかりか、なおものすごい量が余った。
マルコ16:1~8>>イエスは数日前に死んでいた。3人の女たちが、死者の栄誉にふさわしく処するために墓へ行った。ところが、イエスは死からよみがえられたと告げられた。ほどなく、イエスはそのうちの一人の女の前に現れた。
- ・次の質問や準備チェックリストにある質問を用いて、各聖書箇所をディスカッションする。
「この箇所は私たちに何を教えていると思いますか？」
「神さまについて、または神さまへの応答として、何を学べるでしょう？」
「この時間の最初にディスカッションしたトピック『人間の力とか説明を超えたことがときどき起こるものです。』ということ、この箇所はどのように関連していると思いますか？」

APPLY that to life:

- ・次のように主題を述べる。
「イエスは神さまなので、私たちは彼を敬い彼の言うことに耳を傾けるべきです。」
「ミニジャーナル」に「学んだこと」を書き出すようにさせる。
- ・話し合ってみる。
「イエスさまを敬おうとするのを妨げるものにどんなものがあるでしょう？」
「イエスさまをもっと敬うために今週できるアクションを一つあげてみましょう。」
- ・具体的「やってみたいアクション」を書き出すようにさせる。どんなアクションをプランしたか分かち合わせる。最後に互いに折らせる。

TELL someone they know:

- ・今日学んだことに関心をもって聞いてくれそうな人がだれか尋ねる。
- ・「話すべき相手」のところに名前を書かせる。誰に話したいか分かち合わせる。最後に互いに折らせる。
- ・数日中にその人たちに分かち合うように励ます。

Man

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。
- HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

今回使う質問を選ぼう。

- マタイ9:35~37
- 1. 群衆の状況に対するイエスの反応の中に、人としての性質としてどんなものが見られますか？
- ヨハネ11:32~36
- 1. マリヤや、友人ラザロの死に対するイエスの反応から、私たちはイエスについて何を学ぶことができますか？
- ピリピ2:5~8
- 1. この箇所からイエスについて何を学ぶことができますか？しばらくの間、彼は何をあきらめましたか？その結果何に耐えなくてはいけませんでしたか？
- 2. どうして父なる神はその息子(イエス)をこの使命に遣わしたと思いますか？[いろいろな中で、次のような反応をして下さい。「ですから、私たちは神さまを身近な方として覚えることができますし、神さまが私たち自身のことと私たちの問題を理解して下さることを知ることができます。」]

APPLY

- HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。
- 具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

- そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。
- メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。



グループ・ディスカッション・アウトライン



CONNECT with needs:

- ・一人一人調子はどうか探る。また、「やってみたいアクション」と「話すべき相手」ははどうだったか尋ねる。
- ・このセッションのために神さまからの知恵を祈る。
- ・次のように言って始める。
「人を知るために時間を割くなら、その人はより理解されたと感じるし、こちらへの信頼もより深まります。」
そのあとで、体験を出してみる。
「このことに関して、わたし自身の体験を話させてください。」
「このことに関して、みなさんの体験を分かち合ってください。」
- ・次のように言いながら聖書に移る。
「このことは、イエスさまが地球に来られた重要な理由です。人々は、イエスさまが彼ら自身と彼らのさまざまな問題を理解してくれると期待できます。」



HEAR what God says:

- ・このトピックに関する次の聖書ストーリーや聖句を読む。(あるいは話す。)
- ・選択: マタイ9:35~37(ストーリー)、ヨハネ11:32~36(ストーリー)、ピリピ2:5~8 (この中から2つを選べば、このセッションをカバーできるでしょう。)
- ・解説: マタイ9:35~37>>人々のニーズを満たすため、イエスは町々を巡り歩いた。イエスは、人々が弱り果てているのを見て、深くあわれまれた。
ヨハネ11:32~36>>ラザロはひどい病気だった。彼の姉妹であるマリアは人をやってイエスに助けを求めた。イエスが到着する前に、ラザロは死んでしまい、墓に入れられてすでに4日たっていた。マリアはイエスの足もとで涙し、イエスは深く心を動かされた。イエスはマリアのたいへんさを自分のことのように結びつけ涙した。イエスはラザロを死からよみがえらせた。
ピリピ2:5~8>>イエスはその本質が神ではあるが、その神のあり方を捨て置いて、彼が普通の人となることや、人であれば体験するような事柄などを自らに許された。

- ・次の質問や準備チェックリストにある質問を用いて、各聖書箇所をディスカッションする。
「この箇所は私たちに何を教えていると思いますか？」
「神さまについて、または神さまへの応答として、何を学べるでしょう？」
「この時間の最初にディスカッションしたトピック『人を知るために時間を割くなら、その人はより理解されたと感じるし、こちらへの信頼もより深まります。』ということ、この箇所はどのように関連していると思いますか？」



APPLY that to life:

- ・次のように主題を述べる。
「イエスさまは人でもありました。ですから、私たちは彼が私たちの問題を理解できると期待できるし、彼をより信頼することができるのです。」「ミニジャーナル」に「学んだこと」を書き出すようにさせる。
- ・話し合ってみる。
「イエスさまに完全に従おうとするのを妨げるものにどんなものがあるでしょう？」
「もっとイエスさまを信頼するために今週できるアクションの一つあげてみましょう。」
- ・具体的に「やってみたいアクション」を書き出すようにさせる。どんなアクションをプランしたか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。



TELL someone they know:

- ・今日学んだことに関心をもって聞いてくれそうな人がだれか尋ねる。
- ・「話すべき相手」のところに名前を書かせる。誰に話したいか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。
- ・数日中にその人たちに分かち合うように励ます。

Savior

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。
- HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

今回使う質問を選ぼう。

- ヨハネ8:3~11
 1. [女はユダヤの律法を破り、その結果死に直面しました。当時の文化で、姦淫の刑罰は死でした。]
 2. それなら、どうしてイエスは女性を罪に定めなかったのだと思いますか？[いろんなレベルの答えがありますが、イエスは彼女に心から同情し彼女を助けたいと願ったのでは、という答えもその一つでしょう。]

- ローマ5:8
 1. なぜキリストは死ななくてはならなかったのですか？[ここで次のような説明をする必要があるかもしれません。つまり、罪に対する神の究極的な刑罰は死、神からの永遠の分離だということです。ところが、イエスの死は私たちの罪のための身代わりだったということです。]
 2. 私たちに罪による刑罰からの救いの道を与えられた神の動機は何だったと思いますか？神さまからのこのような愛を知ると、私たちと神さまとの関係にどのような影響が出てくると思いますか？

- エペソ2:4~9
 1. [上のローマ5:8の2番目の質問をディスカッションする前にこの聖句を読みたいかもしれません。]
 2. 私たちの救いはどのようにして起こりますか？神さまの側の役割は何ですか？この恵みを私たち自身にあてはめるために私たちは何をしなければなりませんか？

APPLY

- HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。
- 具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

- そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。
- メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。

グループ・ディスカッション・アウトライン

CONNECT with needs:

- 一人一人調子はどうか探る。また、「やってみたいアクション」と「話すべき相手」ははどうだったか尋ねる。
- このセッションのために神さまからの知恵を祈る。
- 次のように言って始める。
「ひどい状況から抜け出すためには、決定的な助けを必要とする時があります。」
そのあとで、体験を出してみる。
「このことに関して、わたし自身の体験を話させてください。」「みなさんの体験も分かち合ってください。」
- 次のように言いながら聖書に移る。
「人間はその罪の故に深刻な状況にあります。イエスさまはある決定的な助けを与えるために来られました。」

HEAR what God says:

- このトピックに関する次の聖書ストーリーや聖句を読む。(あるいは話す。)
- 選択:ヨハネ8:3~11(ストーリー)、ローマ5:8、エペソ2:4~9 (この中から2つを選べば、このセッションをカバーできるでしょう。)
- 解説:ヨハネ8:3~11>>パリサイ派の人々(宗教指導者たち)は、姦淫の罪の現場で捕らえられた女をイエスの前に連れてきた。律法によると、彼女の行為は石打の刑に値すると言った。イエスは、罪のない人はだれもないことを指摘した。イエスは、パリサイ派の人々に、彼らに罪がないなら、この女を殺せとチャレンジした。だれもできなかった。イエスは、その女を罪に定めなかったが、罪深い生活から離れるように彼女にチャレンジした。
ローマ5:8>>私たちが罪人(つみびと)なので、イエスは私たちのために十字架上で死なれた。
エペソ2:4~9>>この箇所では、神の愛とあわれみの故に、神が救い主としてイエス・キリストを送ってくださったということを見ることができる。私たちは、もはや罪の中に死んではおらず、かえって、新しいいのちを持っています。これは、神の恵み(一方的な親切)の行為であり、私たちの側のよさや行いによるのではない。

- 次の質問や準備チェックリストにある質問を用いて、各聖書箇所をディスカッションする。
「この箇所は私たちに何を教えていると思いますか?」
「神さまについて、または神さまへの応答として、何を学べるでしょう?」
「この時間の最初にディスカッションしたトピック『ひどい状況から抜け出すためには、決定的な助けを必要とする時があります。』ということ、この箇所はどのように関連していると思いますか?」

APPLY that to life:

- 次のように主題を述べる。
「イエスさまは私たちの罪のために死んでくださいました。それによって私たちは神さまとの親しい関係をもてるようになりました。」「ミニジャーナル」に「学んだこと」を書き出すようにさせる。
- 話し合ってみる。
「人がイエスさまを救い主として受け入れるのを妨げるものにどんなものがあるでしょう?」
「友だちの一人にイエスさまが救い主であることを示すために、あるいは、あなた自身が彼を救い主として受け入れるために、今週できるアクションを一つあげてみましょう。」
- ここで、KGPを読んでみることもいいかもしれない。
- 具体的に「やってみたいアクション」を書き出すようにさせる。どんなアクションをプランしたか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。

TELL someone they know:

- 今日学んだことに関心をもって聞いてくれそうな人がだれか尋ねる。
- 「話すべき相手」のところに名前を書かせる。誰に話したいか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。
- 数日中にその人たちに分かち合うように励ます。

Servant

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。
- HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

今回使う質問を選ぼう。

- ヨハネ13:1~17
 - 弟子たちの足を洗った行為に、私たちはイエスのどんな品性を見ることができますか？
 - 人々の足を洗うことから、「謙遜」とか「仕える」といった性質をくみ取るとしたら、私たちの日々の生活の中ではどんな形でこのような品性を適用することができますか？
- マルコ1:40~42
 - イエスがらい病人に触れられなかったとしたらそれはどんな理由からだと思えますか？
 - それなのに、どうしてイエスはさわったのでしょうか？

注: 次の聖句はイエスの仕える姿から今度は仕えることにおいてイエスのモデルに従うということに話が移ります。

- エペソ6:7~8
 - 心からの奉仕と反対のものには、どんなものがあるでしょうか？ [いやいやながらとか、しぶしぶとか]
 - 今までに見た心からの奉仕としぶしぶやる奉仕の例をあげてください。

APPLY

- HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。
- 具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

- そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。
- メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。

グループ・ディスカッション・アウトライン

CONNECT with needs:

- 一人一人調子はどうか探る。また、「やってみたいアクション」と「話すべき相手」ははどうだったか尋ねる。
- このセッションのために神さまからの知恵を祈る。
- 次のように言って始める。
「強烈で肯定的なインパクトを与えてくれるのは利己的でなく仕える人です。」
そのあとで、体験を出してみる。
「このことに関して、わたし自身の体験を話させてください。」
「このことに関して、みなさんの体験を分かち合ってください。」
- 次のように言いながら聖書に移る。
「利己的でなく絶えず人々に仕えようとしたのがイエスさまでした。」

HEAR what God says:

- このトピックに関する次の聖書ストーリーや聖句を読む。(あるいは話す。)
- 選択:ヨハネ13:1~17(ストーリー)、マルコ1:40~42(ストーリー)、エペソ6:7~8 (この中から2つを選べば、このセッションをカバーできるでしょう。)
- 解説:ヨハネ13:1~17>>イエスは弟子たちの足を洗うことで謙遜のレッスンを教えている。このような卑しい行為はふつうしもべたちのやることだった。ここでイエスは、イエスがやって見せたように他の人々にするべきだというモデルを設定した。
マルコ1:40~42>>ハンセン病の人が、清くして下さいとイエスに懇願した。このような病気の人を触ることは、律法上汚れてしまうことを意味した。しかしイエスは、自分を省みることなく、この男の求めに応じ、彼をいやされた。
エペソ6:7~8>>この箇所、私たちは、神に奉仕することく、人々に仕えるよう求められている。
- 次の質問や準備チェックリストにある質問を用いて、各聖書箇所をディスカッションする。
「この箇所は私たちに何を教えていると思いますか？」
「神さまについて、または神さまへの応答として、何を学べるでしょう？」
「この時間の最初にディスカッションしたトピック『強烈で肯定的なインパクトを与えてくれるのは利己的でなく仕える人です。』ということと、この箇所はどのように関連していると思いますか？」

APPLY that to life:

- 次のように主題を述べる。
「イエスさまは人々を助け仕える地上生涯を送られ、同じように生きるよう私たちに求めておられます。」
「ミニジャーナル」に「学んだこと」を書き出すようにさせる。
- 話し合ってみる。
「人々を助け仕えようとするのを妨げるものにどんなものがあるでしょう？」
「誰かを助けたり仕えたりするために今週できるアクションを一つあげてみましょう。」
- 具体的に「やってみたいアクション」を書き出すようにさせる。どんなアクションをプランしたか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。

TELL someone they know:

- 今日学んだことに関心をもって聞いてくれそうな人がだれか尋ねる。
- 「話すべき相手」のところに名前を書かせる。誰に話したいか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。
- 数日中にその人たちに分かち合うように励ます。
- 次の4つのセッションがどんなに役立つか話す。(「4 Helps」のページを見る。)

Power

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。
- HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

今回使う質問を選ぼう。

- ガラテヤ5:16~23
 1. 罪の性質から生じる行動(19~21節)に思い当たるふしがあるでしょう。あなたが今までに見てきた例を挙げてみてください。(人の名前は挙げないで)
 2. 9つの御霊の實の一つ一つが見られるようになるのにどのくらい労するでしょう。(22~23節)
 3. [生きるための実際的な力を与えてくれるのは聖霊である、という結論に導く。]
- ローマ8:11
 1. キリストを死からよみがえらせる時に、御霊はどんな困難に思ったと思いますか？[単に肉体をよみがえらせるだけでなく、強力な敵…悪魔に打ち勝つことにおいて]
 2. このようなレベルの力が、なぜ、どのように、私たちの日々の生活において助けになるのでしょうか。
- エペソ3:16~20
 1. 20節にあるような御霊の力を、自分の言葉で表現するならどういうふうに言いますか？
 2. [この力が「私たちの内なる人を強くくださり」、「私たちの内に働いてくださる」ということをもう一度強調する。]

APPLY

- HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。
- 具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

- そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。
- メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。



グループ・ディスカッション・アウトライン



CONNECT with needs:

- 一人一人調子はどうか探る。また、「やってみたいアクション」と「話すべき相手」ははどうだったか尋ねる。
- このセッションのために神さまからの知恵を祈る。
- 次のように言って始める。
「日々の生活はその時その時でチャレンジなことです。」
そのあとで、体験を出してみる。
「このことに関して、わたし自身の体験を話させてください。」
「このことに関して、みなさんの体験を分かち合ってください。」
- 次のように言いながら聖書に移る。
「聖霊は私たちに力を与え、人生における日々のチャレンジに対処できるようにしてくださいます。」



HEAR what God says:

- このトピックに関する次の聖書ストーリーや聖句を読む。(あるいは話す。)
- 選択: ガラテヤ5:16~23、ローマ8:11、エペソ3:16、20 (この中から2つを選べば、このセッションをカバーできるでしょう。)
- 解説: ガラテヤ5:16~23>> 肉の願いと御霊の願いは互いに相反します。キリストに従うために私たちは自分がしたいと思うことをしなくてはいけません。しかしながら、御霊によって歩むなら、罪の性質から来る願いに対して「NO」と言う力を持つことになるでしょう。
ローマ8:11>> イエス・キリストを死からよみがえらせた神の御霊が、私たちの内に住んでいます。このことで、私たちは日々の生活に力を得るのです。
エペソ3:16、20(以前 4 Walks のセッションで引用された)>> この箇所は、私たちが生きてゆくに提供されている力がどれほどのものなのかについて驚くべき提示をしています。

- 次の質問や準備チェックリストにある質問を用いて、各聖書箇所をディスカッションする。
「この箇所は私たちに何を教えていると思いますか？」
「聖霊について、または聖霊への応答として、何を学べるでしょう？」
「この時間の最初にディスカッションしたトピック『日々の生活はその時その時でチャレンジである』ということ、この箇所はどのように関連していると思いますか？」



APPLY that to life:

- 次のように主題を述べる。
「毎日の生活は本当に大変です。でも、聖霊は私たちに力を与えて下さいます。」
「ミニジャーナル」に「学んだこと」を書き出すようにさせる。
- 話し合ってみる。
「日々のチャレンジに聖霊の力を体験するのを妨げるものにどんなものがあるでしょう？」
「生活のチャレンジのうち一つを聖霊の力によって克服するために今週できるアクションをあげてみましょう。」
- 具体的に「やってみたいアクション」を書き出すようにさせる。どんなアクションをプランしたか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。
- ここで、「御霊のブックレット」を読んでみることもいいかもしれない。



TELL someone they know:

- 今日学んだことに関心をもって聞いてくれそうな人がだれか尋ねる。
- 「話すべき相手」のところに名前を書かせる。誰に話したいか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。
- 数日中にその人たちに分かち合うように励ます。

Truth

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。
- HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

今回使う質問を選ぼう。

- 1ヨハネ2:27
- 1. この節から、御霊(彼の油注ぎ)の役割について、どんなことを学べますか？
- 1コリント2:10~12
- 1. この箇所から、御霊の持つ知識の範囲について、どんなことを学べますか？
- ヨハネ16:13~15
- 1. [イエスは、もうすぐ物理的には弟子達と一緒にいられなくなるということに対して、準備していました。イエスは、聖霊という形で彼らに助けを送ることを説明しながら、弟子達を励ました。そのことを説明してあげてください。] 2. この箇所では、聖霊を通してどんな助けが与えられると、約束されているでしょうか？
- 3. 今日の私たちクリスチャンを取り巻く状況の中で、聖霊が実際的にどのような助けとなるでしょうか？

APPLY

- HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。
- 具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

- そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。
- メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。

グループ・ディスカッション・アウトライン

CONNECT with needs:

- 一人一人調子はどうか探る。また、「やってみたいアクション」と「話すべき相手」ははどうだったか尋ねる。
- このセッションのために神さまからの知恵を祈る。
- 次のように言って始める。
「時々、何が真実で何が間違いか判断することが難しい時があります。」
そのあとで、体験を出してみる。
「このことに関して、わたし自身の体験を話させてください。」
「このことに関して、みなさんの体験を分かち合ってください。」
- 次のように言いながら聖書に移る。
「聖霊は、霊的な事柄について何が真実であるか判断する知恵を与えてくれます。」

HEAR what God says:

- このトピックに関する次の聖書ストーリーや聖句を読む。(あるいは話す。)
- 選択: Iヨハネ2:27、Iコリント2:10~12、ヨハネ16:13~15 (この中から2つを選べば、このセッションをカバーできるでしょう。)
- 解説: Iヨハネ2:27>>注ぎの油は、聖霊の働きを表しています。聖霊は私たちの教師でありカウンセラーであり、聖書の真理を日々の生活の中で、適用することを助けてくれます。
Iコリント2:10~12>>聖霊とイエスキリストだけが、神のみこころを知っています。聖霊によって、私たちは単なる人間の知恵以上のものを持つことができるのです。神から来る霊的な真理を、知ることができるのです。
ヨハネ16:13~15>>イエスは聖霊の働きについて説明しています。聖霊は、私たちがすべての真理に導き入れ、私たちに父なる神を知らせることを助けてくれます。
- 次の質問や準備チェックリストにある質問を用いて、各聖書箇所をディスカッションする。
「この箇所は私たちに何を教えていると思いますか？」
「神さまについて、または神さまへの応答として、何を学べるでしょう？」
「この時間の最初にディスカッションしたトピック『時々、何が真実で何が間違いか判断することが難しい時があります。』ということと、この箇所はどのように関連していると思いますか？」

APPLY that to life:

- 次のように主題を述べる。
「時々霊的には何が真実なのか判断するのが難しい時があります。でも聖霊はそこに光を照らして教えてくれます。」
「ミニジャーナル」に「学んだこと」を書き出すようにさせる。
- 話し合ってみる。
「霊的な真理に関して今までどんなまぎらわしい教えを聞いてきましたか(たとえば、ダビデコードとか)?」
「聖霊からさらに霊的な知恵をいただくために今週できるアクションを一つあげてみましょう。」
- 具体的「やってみたいアクション」を書き出すようにさせる。どんなアクションをプランしたか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。

TELL someone they know:

- 今日学んだことに関心をもって聞いてくれそうな人がだれか尋ねる。
- 「話すべき相手」のところに名前を書かせる。誰に話したいか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。
- 数日中にその人たちに分かち合うように励ます。

Peace

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。
- HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

今回使う質問を選ぼう。

- ローマ8:5~6
 1. 罪人の思いは、どういう点で、「死」であると言えますか？
 2. 同様に、「聖霊に」支配された思いは、どういう点で、「いのちと平安」であると言えますか？
- 使徒7:54~60
 1. 告発する人たちの怒りと、死に直面していた時のステパノの心の状態を表現するとしたらどのような形容詞が使えるでしょう？
 2. これは通常の反応ですか、それとも、超自然的なものですか？ どうしてですか？ [これは超自然的なもので、力の源は聖霊。聖霊は、感情的に圧倒される状況にあっても平安を与えることができる。]
- ガラテヤ5:22
 1. [御霊の実の3つ目は平安。]
 2. その平安を自分のものとするためには何をしなければいけないと思いますか？ [私たちが聖霊で満たされると、私たちはその平安を得ることができる。]

APPLY

- HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。
- 具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

- そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。
- メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。

グループ・ディスカッション・アウトライン

CONNECT with needs:

- ・一人一人調子はどうか探る。また、「やってみたいアクション」と「話すべき相手」はどうかたがひ尋ねる。
- ・このセッションのために神さまからの知恵を祈る。
- ・次のように言って始める。
「私たちは、いろんなことで感情的にもういっぱいいっぱいと感じてしまうことがあります。」
そのあとで、体験を出してみる。
「このことに関して、わたし自身の体験を話させてください。」
「このことに関して、みなさんの体験を分かち合ってください。」
- ・次のように言いながら聖書に移る。
「こうした中でも、聖霊は私たちに平安を与えて下さいます。」

HEAR what God says:

- ・このトピックに関する次の聖書ストーリーや聖句を読む。(あるいは話す。)
- ・選択：ローマ8:5～6、使徒7:54～60(ストーリー)、ガラテヤ5:22 (この中から2つを選べば、このセッションをカバーできるでしょう。)
- ・解説：ローマ8:5～6>>この箇所は、肉にゆだねることと、聖霊の力にゆだねることの際立った対比を表しています。私たちの罪の性質は死を生みますが、聖霊はいのちと平安を生みます。
使徒7:54～60>>ステパノは、初代教会に仕えるために選ばれた者の一人でした。彼は逮捕され、怒った群衆の真ん中に置かれました。群衆がステパノを町の外に引きずり出し打ち殺しはじめた時、彼は聖霊に満たされ、平安を見出しました。
ガラテヤ5:22(以前に一部引用)>>聖霊に満たされている時の実(結果)の3つ目は、「平安」です。
- ・次の質問や準備チェックリストにある質問を用いて、各聖書箇所をディスカッションする。
「この箇所は私たちに何を教えていると思いますか？」
「聖霊について、または聖霊への応答として、何を学べるでしょう？」
「この時間の最初にディスカッションしたトピック『私たちは、いろんなことで感情的にもういっぱいいっぱいと感じてしまうことがあります。』ということと、この箇所はどのように関連していると思いますか？」

APPLY that to life:

- ・次のように主題を述べる。
「時々、いろんなことで私たちの感情はいっぱいいっぱいになってしまっていますが、聖霊は私たちに平安を与えて下さいます。」
「ミニジャーナル」に「学んだこと」を書き出すようにさせる。
- ・話し合ってみる。
「聖霊からくる平安を受け取れないように妨げるものにどんなものがあるでしょう？」
「この平安をもっと体験するために今週できるアクションを一つあげてみましょう。」
- ・具体的「やってみたいアクション」を書き出すようにさせる。どんなアクションをプランしたか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。

TELL someone they know:

- ・今日学んだことに関心をもって聞いてくれそうな人がだれか尋ねる。
- ・「話すべき相手」のところに名前を書かせる。誰に話したいか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。
- ・数日中にその人たちに分かち合うように励ます。

Words

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。
- HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

今回使う質問を選ぼう。

- ルカ12:11~12
 - 聖霊が私たちの生活の中で働く、さらに他の役割は何でしょう？
 - 私たちは敵の前で信仰について弁明するようなことはないかもしれませんが、しかし、聖霊が何を語るべきか日々教えてくださる状況があると思います。それはどんな時でしょう？
- I コリント2:1~8, 13
 - 世界的にずるがしこいコリントの人々に対応しているパウロの姿からどんなことを学ぶことができますか？
 - この箇所ではどんな対比がありますか？[人間的、世的な知恵 VS 霊的な知恵 という観点にフォーカスする。]

APPLY

- HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。
- 具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

- そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。
- メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。

グループ・ディスカッション・アウトライン

CONNECT with needs:

- ・一人一人調子はどうか探る。また、「やってみたいアクション」と「話すべき相手」はどうかたが尋ねる。・このセッションのために神さまからの知恵を祈る。
- ・次のように言って始める。
「私たちは難しい状況にある人を助けたいと思いますが、何と言ってあげたらいいのかわからない時があります。」
そのあとで、体験を出してみる。
「このことに関して、わたし自身の体験を話させてください。」
「このことに関して、みなさんの体験を分かち合ってください。」
- ・次のように言いながら聖書に移る。
「このような状況でも、聖霊は私たちに適切な言葉を与えて下さいます。」

HEAR what God says:

- ・このトピックに関する次の聖書ストーリーや聖句を読む。(あるいは話す。)
- ・選択:ルカ12:11~12、I コリント2:1~8、13
- ・解説:ルカ12:11~12>>この箇所は、私たちが自分の信仰を弁明しなくてはならない時、聖霊が話すことばを与えてくださると励ましをくれる。
I コリント2:1~8、13>>この箇所は、パウロを通して聖霊が語ってくださったという彼自身の証し。パウロは自分自身には雄弁さやことばなどなく、恐れと知識に欠けていたと語っている。そして、コリントの人々が福音のメッセージをつかんだのは、彼を通して語って下さった聖霊の力によったことを告白している。聖霊は私たちに語ることばを与えることができる。聖霊によって私たちは霊的真理を語る事ができる。
- ・次の質問や準備チェックリストにある質問を用いて、各聖書箇所をディスカッションする。
「この箇所は私たちに何を教えていると思いますか？」
「神さまについて、または神さまへの応答として、何を学べるでしょう？」
「この時間の最初にディスカッションしたトピック『私たちは難しい状況にある人を助けたいと思いますが、何と言ってあげたらいいのかわからない時があります。』ということ、この箇所はどのように関連していると思いますか？」

APPLY that to life

- ・次のように主題を述べる。
「人々に伝える際、何と言ってあげたらいいのかわからない時があります。でも、聖霊は私たちに言葉を与えて下さいます。」
- 「ミニジャーナル」に「学んだこと」を書き出すようにさせる。
- ・話し合ってみる。
「人に伝える際、聖霊が与えて下さる適切な言葉を受け取るのを妨げるものにどんなものがあるでしょう？」
「人に伝えるため、適切な言葉を見つけるために今週できるアクションの一つをあげてみましょう。」
- ・具体的に「やってみたいアクション」を書き出すようにさせる。どんなアクションをプランしたか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。

TELL someone they know:

- ・今日学んだことに関心をもって聞いてくれそうな人がだれか尋ねる。
- ・「話すべき相手」のところに名前を書かせる。誰に話したいか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。
- ・数日中にその人たちに分かち合うように励ます。
- ・次の4つのセッションがどんなに役立つか話す。(「4 Attitudes」のページを見る。)

Trust

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。
- HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

今回使う質問を選ぼう。

- ルカ5:17~26
 1. 中風の友人たちが他人の家の屋根に穴をあけ、イエスと群衆の前に中風の人をつり降ろそうと計画している時、彼らの心にはどのような思いがあったと思いますか？
 2. 最終的に彼らとその決断をしたのはなぜだと思いますか？
 3. 神を喜んで信頼しようとする彼らの姿勢に対する報いは何だったのでしょうか？
- マタイ14:25~33
 1. この箇所から神を信頼することにおいてどんなことを学べますか？
- 箴言3:5
 1. あなたならこの聖句を今日の言葉で言い換えるとどのように表現しますか？

APPLY

- HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。
- 具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

- そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。
- メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。



グループ・ディスカッション・アウトライン



CONNECT with needs:

- ・一人一人調子はどうか探る。また、「やってみたいアクション」と「話すべき相手」はどうかたが尋ねる。
- ・このセッションのために神さまからの知恵を祈る。
- ・次のように言って始める。
「信頼できなければ、友だちでいることはむずかしいです。」
そのあとで、体験を出してみる。
「このことに関して、わたし自身の体験を話させてください。」
「このことに関して、みなさんの体験を分かち合ってください。」
- ・次のように言いながら聖書に移る。
「神さまとの関係においても同じ事が言えます。」



HEAR what God says:

- ・このトピックに関する次の聖書ストーリーや聖句を読む。(あるいは話す。)
- ・選択: ルカ5:17~26(ストーリー)、マタイ14:25~33(ストーリー)、箴言3:5 (この中から2つを選べば、このセッションをカバーできるでしょう。)
- ・解説: ルカ5:17~26>>この話は中風の友人たちがイエスの前に中風の男を連れていくという驚くべき手段をとったことについて書いてある。もしその中風の男と彼の友人はキリストが何かをして下さると信じていたからこそ、彼らはそうすることができたのである。彼らの信仰はその男のいやしにまさって報われた。
マタイ14:25~33>>ペテロは、少なくとも最初に、キリストへの大きな信頼を表した。彼はまたその信頼がゆらいだ時に何が起こるかを見ている。
箴言3:5>>この箇所は私たちに、自分自身の悟りにではなく、全身全霊をもって神に信頼するように招いている。

- ・次の質問や準備チェックリストにある質問を用いて、各聖書箇所をディスカッションする。
「この箇所は私たちに何を教えていると思いますか？」
「神さまについて、または神さまへの応答として、何を学べるでしょう？」
「この時間の最初にディスカッションしたトピック『信頼できなければ、友だちでいることはむずかしいです。』ということと、この箇所はどのように関連していると思いますか？」



APPLY that to life:

- ・次のように主題を述べる。
「あなた自身ではなく神さまを信頼しましょう。」
「ミニジャーナル」に「学んだこと」を書き出すようにさせる。
- ・話し合ってみる。
「自分のことよりも神さまのことを信頼することがいつもできるとは限らないのはなぜでしょう？」
「神さまをもっと信頼し始めるために今週できるアクションの一つあげてみましょう。」
- ・具体的に「やってみたいアクション」を書き出すようにさせる。どんなアクションをプランしたか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。



TELL someone they know:

- ・今日学んだことに関心をもって聞いてくれそうな人がだれか尋ねる。
- ・「話すべき相手」のところに名前を書かせる。誰に話したいか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。
- ・数日中にその人たちに分かち合うように励ます。

Love

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。
- HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

今回使う質問を選ぼう。

マタイ22:36~38

1. 「あなたの神である主を愛せよ。」以外にイエスさまが答えたかも知れない返事にはどんなものが考えられますか？
[たとえば、「きよくなければならない。」とか、「神に従え。」など。]

2. キリストが「主を愛せよ。」を選んだ理由にはどんなことがあったと思いますか？

ヨハネ21:15~17

1. [この箇所は、キリストが天に上げられる前にしたペテロとの最後の会話の記録であることを指摘してください。]

2. イエスさまはどうして何度も「私を愛するか？」とペテロに尋ねたと思いますか？

3. ペテロのその後の人生にこの会話はどのようなインパクトを残したと想像しますか？

申命記11:11~15

1. 全身全霊、神を愛し仕えるとき、イスラエルの子供たちに約束されていた利益はどんなものでしたか？

2. 私たちが同じように愛し仕えた時、こうした利益はいまの時代、どのように思いますか？

APPLY

- HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。
- 具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

- そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。
- メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。



グループ・ディスカッション・アウトライン

CONNECT with needs:

- ・一人一人調子はどうか探る。また、「やってみたいアクション」と「話すべき相手」ははどうだったか尋ねる。
- ・このセッションのために神さまからの知恵を祈る。
- ・次のように言って始める。
「人との関係が日に日に深まっていくために、愛は決定的な重要な要素です。」
そのあとで、体験を出してみる。
「このことに関して、わたし自身の体験を話させてください。」
「このことに関して、みなさんの体験を分かち合ってください。」
- ・次のように言いながら聖書に移る。
「神さまとの関係においても同じ事が言えます。」



HEAR what God says:

- ・このトピックに関する次の聖書ストーリーや聖句を読む。(あるいは話す。)
- ・選択: マタイ22:36~38、ヨハネ21:15~17(ストーリー)、申命記11:11~15(ストーリー) (この中から2つを選べば、このセッションをカバーできるでしょう。)
- ・解説: マタイ22:36~38 >> イエスは神を愛することが私たち人間の優先順位第一であることを明確にしている。
ヨハネ21:15~17 >> イエスは、ペテロを最優先していることを特に強調している。(ペテロは数日前にイエスを否定したばかりだったのだが。)
申命記11:11~15 >> 神は、全身全霊をもって神を愛し仕えるなら、どれほど素晴らしい利益を得ることになるかと、イスラエルの子供たちに言った。

- ・次の質問や準備チェックリストにある質問を用いて、各聖書箇所をディスカッションする。
「この箇所は私たちに何を教えていると思いますか?」
「神さまについて、または神さまへの応答として、何を学べるでしょう?」
「この時間の最初にディスカッションしたトピック『人との関係が日に日に深まっていくために、愛は決定的な重要な要素です。』ということ、この箇所はどのように関連していると思いますか?」



APPLY that to life:

- ・次のように主題を述べる。
「全身全霊で神さまを愛し礼拝しましょう。」
「ミニジャーナル」に「学んだこと」を書き出すようにさせる。
- ・話し合ってみる。
「全身全霊で神さまを愛するのがいつもとは限らないのはなぜでしょう?」
「神さまをもっと愛し始めるのに今選べるアクションの一つあげてみましょう。」
- ・具体的に「やってみたいアクション」を書き出すようにさせる。どんなアクションをプランしたか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。



TELL someone they know:

- ・今日学んだことに関心をもって聞いてくれそうな人がだれか尋ねる。
- ・「話すべき相手」のところに名前を書かせる。誰に話したいか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。
- ・数日中にその人たちに分かち合うように励ます。

Obey

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。
- HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

今回使う質問を選ぼう。

ヨハネ14:23~24

1. 神さまを本当に愛しているなら、神さまに従うはずなのはなぜだと思いますか。(さきほどの CONNECT のディスカッションと関連づける。)

マタイ21:28~32

1. このたとえ話から学べることはなんでしょう？

2. あなたが誰かに(両親や友達など)に何かをすることを約束しましたが、結局その約束を守れなかった例を挙げて下さい。その相手の人はどういう気持ちになると思いますか？

使徒5:27~33

1. 宗教指導者たちを不快にさせたことで、使徒たちにはどんなリスクが明白だったでしょう？

2. 使徒たちがこのようなリスクを冒した理由は何だったでしょうか。

APPLY

- HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。
- 具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

- そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。
- メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。



グループ・ディスカッション・アウトライン

CONNECT with needs:

- ・一人一人調子はどうか探る。また、「やってみたいアクション」と「話すべき相手」はどうだったか尋ねる。
- ・このセッションのために神さまからの知恵を祈る。
- ・次のように言って始める。
- 「人を愛する時、私たちはその人をどうやって喜ばせようかと考えます」
そのあとで、体験を出してみる。
- 「このことに関して、わたし自身の体験を話させてください。」
- 「このことに関して、みなさんの体験を分かち合ってください。」
- ・次のように言いながら聖書に移る。
- 「神さまとの関係においても同じ事が言えます。」

HEAR what God says:

- ・このトピックに関する次の聖書ストーリーや聖句を読む。(あるいは話す。)
- ・選択:ヨハネ14:23~24、マタイ21:28~32(ストーリー)、使徒5:27~33(ストーリー) (この中から2つを選べば、このセッションをカバーできるでしょう。)
- ・解説:ヨハネ14:23~24>>イエスは、イエスを愛することとイエスの教えに従うことを関連づけている。
マタイ21:28~32>>イエスは、従順とは、ただ単に「はい」ということだけでなく、最後まで従い通すことであることを明確にしている。
- 使徒5:27~33>>個人的なリスクを冒してまでも神さまに従うことが大切であるとの理解を使徒たちは表している。
- ・次の質問や準備チェックリストにある質問を用いて、各聖書箇所をディスカッションする。
- 「この箇所は私たちに何を教えていると思いますか？」
- 「神さまについて、または神さまへの応答として、何を学べるでしょう？」
- 「この時間の最初にディスカッションしたトピック『人を愛する時、私たちはその人をどうやって喜ばせようかと考えます。』ということと、この箇所はどのように関連していると思いますか？」

APPLY that to life:

- ・次のように主題を述べる。
- 「神さまが喜んで下さることをしましょう。」
- 「ミニジャーナル」に「学んだこと」を書き出すようにさせる。
- ・話し合ってみる。
- 「時にわたしたちがこのようにできないのはなぜでしょう？」
- 「神さまをもっと喜ばせ始めるために今週できるアクションを一つあげてみましょう。」
- ・具体的に「やってみたいアクション」を書き出すようにさせる。どんなアクションをプランしたか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。

TELL someone they know:

- ・今日学んだことに関心をもって聞いてくれそうな人がだれか尋ねる。
- ・「話すべき相手」のところに名前を書かせる。誰に話したいか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。
- ・数日中にその人たちに分かち合うように励ます。

Use

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。
- HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

今回使う質問を選ぼう。

- エペソ2:10
 1. この箇所から私たちに対する神のどんな計画を知ることができますか？
 2. 私たちに何をするように促しているでしょうか？
- エペソ5:15~16
 1. この箇所では何をするようにすすめていますか？[ここで鍵となる言葉は、「あなたに与えられている戦略と機会を十分に活かさない」と訳せるのでは]
- マタイ25:14~30
 1. 初めの2人のしもべは何をしましたか？[彼らは自分のお金を置いて、100%の儲けを得た]
 2. しもべが帰ってきたときの主人の反応はどうでしたか？
 3. 3人目のしもべは何をしましたか？
 4. このしもべに対する主人の反応はどうでしたか？

APPLY

- HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。
- 具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

- そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。
- メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。

グループ・ディスカッション・アウトライン

CONNECT with needs:

- ・一人一人調子はどうか探る。また、「やってみたいアクション」と「話すべき相手」はどうだったか尋ねる。
- ・このセッションのために神さまからの知恵を祈る。
- ・次のように言って始める。
「何かもらったときは、それを使うことがすごくよいお返しであり謝意を示すことになります。」
そのあとで、体験を出してみる。
「このことに関して、わたし自身の体験を話させてください。」
「このことに関して、みなさんの体験を分かち合ってください。」
- ・次のように言いながら聖書に移る。
「神さまとの関係においても同じ事が言えます。」

HEAR what God says:

- ・このトピックに関する次の聖書ストーリーや聖句を読む。(あるいは話す。)
- ・選択:エペソ2:10、エペソ5:15~16、マタイ25:14~30(ストーリー) (この中から2つを選べば、このセッションをカバーできるでしょう。)
- ・解説:エペソ2:10>>この箇所は神が私たちに私たちがすべきよい行いをすでに用意しておられることが書かれています。
エペソ5:15~16>>この箇所は私たちの責任は神から与えられた機会を用いることであることが書かれています。マタイ25:14~30>>この箇所は神さまから与えられているものをしっかり生かすことがどれほど神さまを喜ばせ重要なことなのかを表わすべく知られたたとえ話です。「主人」は神を表わしています。
- ・次の質問や準備チェックリストにある質問を用いて、各聖書箇所をディスカッションする。
「この箇所は私たちに何を教えていると思いますか？」
「神さまについて、または神さまへの応答として、何を学べるでしょう？」
「この時間の最初にディスカッションしたトピック『何かもらったときは、それを使うことがすごくよいお返しであり謝意を示すこととなります。』ということと、この箇所はどのように関連していると思いますか？」

APPLY that to life:

- ・次のように主題を述べる。
「神さまがあなたに与えて下さっているものを神さまの目的にあわせて上手に使いましょう。」
「ミニジャーナル」に「学んだこと」を書き出すようにさせる。
- ・話し合ってみる。
「時に神さまがくださっているギフトをうまく使えないのはどうしてでしょう？」
「よりよく使い始めるために今週できるアクションを一つあげてみましょう。」
- ・具体的に「やってみたいアクション」を書き出すようにさせる。どんなアクションをプランしたか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。

TELL someone they know:

- ・今日学んだことに関心をもって聞いてくれそうな人がだれか尋ねる。
- ・「話すべき相手」のところに名前を書かせる。誰に話したいか分かち合わせる。最後に互いに祈らせる。
- ・数日中にその人たちに分かち合うように励ます。
- ・この教材を使って自らのグループを始めるようにメンバーを励ます。

4 Who is Jesus !?

イエスに関する大切な事実を知って、さらに探求してみよう

📖 God

学んだこと:

やってみたいアクション:

📖 Man

学んだこと:

やってみたいアクション:

📖 Savior

学んだこと:

やってみたいアクション:

📖 Servant

学んだこと:

やってみたいアクション:

4 Walks

神を知り、神とどのようにかかわってゆくべきかを知ろう

📖 Walk Assured (確信して歩む)

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

📖 Walk Forgiven (赦されて歩む)

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

📖 Walk Filled (満たされて歩む)

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

📖 Walk Continually (絶え間なく歩む)

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

4 Talks

クリスチャンライフを助ける新しい習慣を身につけよう

Apply the Bible (Let God Talk to You)

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

Pray (Talk to God)

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

Witness (Talk to Non-Christians)

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

Fellowship (Talk to Christians)

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

4 Ministries

人々に仕えるための大切な方法を理解しよう

📖 Love

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

📖 Win (Reach)

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

📖 Build (Disciple)

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

📖 Send (Involve)

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

ミニジャーナル

4 Facts

イエスに関する大切な事実を知って彼に適切に応答していこう

God

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

Man

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

Savior

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

Servant

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

📖 ミニジャーナル

4 Helps

超自然的な歩みのために聖霊が与えられていることを理解しよう

📖 Power

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

📖 Truth

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

📖 Peace

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

📖 Words

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

ミニジャーナル

4 Attitudes

神に信頼して神に対する見方を変えていただく

 Trust

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

 Love

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

 Obey

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

 Use

学んだこと:

やってみたいアクション:

話すべき相手:

セッション準備ガイドライン(付録)

PRAY

満足のゆくセッション時間を過ごせるかどうかは、ただ神さまにかかっています。具体的な準備に入る前に、準備のために祈る時間をとってください。また、グループメンバー一人一人のために、次のことを祈ってください。

1. セッションに参加できるように。
2. ディスカッションを理解するのに、神さまの助けがあるように。
3. 学んだレッスンを、その週のうちに、具体的な形で適用できるように。
4. 学んだことを、その週のうちに、誰かに分かち合えるように。

CONNECT

学ぶべきトピックをどのように体験してきたか、個人的な体験例を準備しておきましょう。ディスカッション前の導入は、議論から始めるよりも一人一人の体験を分かち合うことからするようにします。そうすることによって、たいがいのメンバーが、実体験から真理をキャッチする雰囲気となり、次のように言いながら、HEAR のセクションに移行していくのがスムーズになるでしょう。「みなさんの体験から汲み取ってきたレッスンは、神さまとの関係(あるいは、クリスチャンライフ)においても同じです。」

この CONNECT のセクションでは、グループメンバーたちが霊的にどこにいるのかにも触れることになります。ノンクリスチャンの出席が多い場合、より多くの説明をしたり、祈る時に気を遣ったりする必要もあるでしょう。

HEAR

聖書箇所を読む時間をもってください。セッション準備チェックリストにある質問を使うことを考慮してください。これらの質問は、グループ・ディスカッション・アウトラインにある標準的な質問よりも使いやすいでしょう。付け加えたり、違う質問の方がいいのではなど自問してください。たとえば、もし、グループメンバーがほとんどノンクリスチャンであるなら、理解をはっきりさせるような質問をする必要があるでしょう。次のようです。「この聖書の言葉で、いまいちわからないというところはないですか？」

どの質問を使うか前もってプランしておくことは大きな助けになるでしょう。ディスカッションを導くのにスムーズになるでしょうから。

APPLY

このセクションには HEAR のディスカッションからそのまますぐはいつてきてください。たとえば、「確信して歩む」のレッスンでは次のように言うことができます。「この時間の最初に見た『人との関係は、受容と信頼によって育まれる』ということは、私たちのディスカッションからも同意できると思います。このことは神さまとの関係も含まれます。神さまは、神さまとの関係を築いている人々を確かに愛し受け入れておられるということがバイブルディスカッションからわかったと思います。ですから、神さまと個人的な関係にあるという確信をもっていることはとても重要なのです。」

そのあとで考えさせる質問を次のようにします。「神さまとの個人的な関係にときどき確信が持てないのはなぜでしょう?」

どのセッションもこのような思考の流れができるようにしてあります。複雑にしたり、関連のないところに飛んでしまったりしないようにしてください。ディスカッションがひとつひとつのステップをきちんと踏むようにしてください。また、グループメンバーが「やってみたいアクション」を書き出すようにさせてください。それからそれを分かち合い祈り合います。(ファシリテーターであるあなた自身が自分の例を分かち合う必要があるでしょう。)生き方や行動が変わることは、続けて成長したいという動機や、他の人にもイエスさまを知らせたいという願いを喚起します。

TELL

同様に、学んだことをグループメンバー以外の人々に分かち合うようプランさせてください。多くのメンバーが、霊的なことを友だちに話すことに消極的な態度をあらわすかもしれないことを知っておいてください。しかしながら、そうした分かち合いこそ、彼らの友人ネットワークに福音を浸透させてゆくきっかけになるのです。

OVERALL

やるたびに以下のことを自問してください。

1. グループが強いきずなで結ばれるためにできることはないか?
(たとえば、今度の時間は、いつものディスカッションではなくて、いっしょに遊ぶ時間にするのはどうかかな? など。)
2. グループメンバーのうち、すでに自分のグループを始められそうな人は誰だろう?
(このことをその人に話してみる時間をプランしてみる。その人に、あなたのグループを部分的にリードすることをやらせてみる。その人が、スモールグループリーダーズガイドを熟知するようにする。)
3. イエスさまをまだ知らなさそうなメンバーはいないか?(折りつつ、福音を提示する機会をうかがう。)

ハートチェック・クエスチョン

(参考資料: Life Transformation Groups バンプ)

以下の質問は、毎週のハートビルダーの時間に互いにわかちあわれるべき質問項目です。

「鉄は鉄によってとがれ、人はその友によってとがれる。」(箴言27:17)

これらの質問は、その人の内面や罪の告白などをしやすくするものであり、正直で、弱さをあかすことができ、かつ、秘密が守られ、恵みによって取り扱われるという安全な環境の中でなされるべきものです。

Out-Reach

1. わたしは今週、失われた魂のために祈り、積極的にイエス・キリストを知らない誰かに福音を語ったか？
2. わたしは今週、言葉においても行いにおいても、イエス・キリストのすばらしさを証し、失われた魂が一步でもイエス・キリストに近づくために用いられただろうか？

In-Reach

3. 性: わたしは今週、性的に誘惑する媒体に関わったり、心の中で誰かとの不健全な性的妄想を楽しんだりしなかったか？
4. 物・金: わたしは今週、お金の取り扱いにおいて不適切な点や、自分のものではないものを必要以上にほしがったりしなかっただろうか？
5. 人間関係・プライド: わたしは、今週、大切にすべき人間関係において、相手を尊重し、理解し、寛容をあらわしていただろうか？ かげでにせよ、面に向かってにせよ、言葉によって人を傷つけたことはなかっただろうか？ 誰かに対して、怒りを持ちつづけてはいないだろうか？ 密かに、誰かの不幸や失敗を願ってはいないだろうか？
6. 愛: わたしは先週、あらゆる人に対して御霊の力によってキリストの愛をもって、へりくだり、受け入れ、仕え、愛を表現していたか？

Up-Reach

7. 計画どおり聖書を読めたか？ 神さまに砕かれた心で聞くことをしただろうか？ そこからいま適用しようと思っていることは？
8. 祈りの生活はどうだったか？ 自分のため、魂のため、兄弟達のため、静まってとりなして祈っていたか？

Others

9. _____
(ここには、あなたに必要なアカウンタビリティクエスチョンをつくってください。)
10. わたしは今、相手に対してごまかしていたり、告白していなかったりすることはないか？

*「ですから、互いに罪を言い表しましょう。そして互いに祈り合ひましょう。
そうすることであなたがたはいやされるからです。」(ヤコブ5:16)*

「エッセンシャルズ」(日本語と英語)は、ここから落とせません。 [http:// www.studentimpact.jp/g3](http://www.studentimpact.jp/g3)